つくりこまれた小宇宙に昂ぶる

―「非日常」を求めた石とガラスの家 ―

天空を映しこむ巨大なガラススクリーン、古代の神秘を感じる大理石の壁面が
都会の生活感を抑えた硬質な空間を創り出し、一日中振りそそぐやわらかな陽光が
穏やかな時間の流れを演出する。

設計：アーネストアーキテクツ株式会社　施工：アーネストホーム株式会社

写真／壁に張られた白色系の大理石は斜めに流れる美しい柄を選定し、外部に向かって上昇して行くイメージを実現しました。開口部のガラススクリーンを通し柔らかな光が差し込むリビングはあたたかみのある落ち着いた空間になりました。

Earnest architects